

山都町はSDGs「持続可能な開発目標」に取り組みます！



私のSDGsを紹介します！

食育事業 × SDGs 生ごみ堆肥生成事業

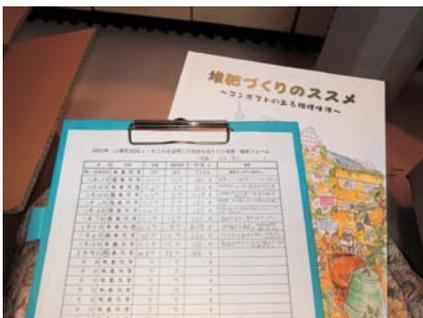
令和3年度SDGsモデル事業の一つとして『食育事業』『生ごみ堆肥生成事業』を実施しています。取り組み状況についてご紹介します。



食育事業

清和小学校では身近なSDGs（レジ袋をもらわない、地元の店で買い物をする等）を学び、自分が取り組んでいることを振り返りながらこれから何ができるかを考えました。参加した児童からは「エコバッグを使う」「給食を残さず食べる」等の意見が出ました。

潤徳小学校では、山都町内で調達した材料を使った味噌づくりを行い、昔から伝わる食について学びました。蒸した大豆、麴、塩を一人ひとり混ぜて容器に詰め、オリジナルの味噌を仕込み、家に持ち帰りました。今回の食育で学んだことを家庭でも話題に挙げて、食の大切さについて話し合ってみてください。



SDGs 未来都市山都町



生ごみ堆肥生成事業

12月末から町内3中学校生徒を通じて各家庭に段ボールコンポストセットを持ち帰り、家庭から排出される生ごみを計測し、竹粉と混ぜ合わせて堆肥へと循環させる取り組みを行っています。（一般家庭にも御協力いただいています。）

【取組中の家庭から】

生徒：毎日これだけの生ごみを一般ごみとして捨てていたことがわかり、リサイクルの重要さが分かりました。できればこれからも続けていきたい。

親：子どもからの取り組んでみたいという声に、協力して一緒に取り組むことにしました。毎日晚御飯の片付けの後、ごみの量を量り竹粉と混ぜ合わせています。温度を測ったり様子を観察したり、削減されたごみの量やコンポストの様子など、子どもと一緒に学ぶことができ大変良い取り組みとなっています。

問合せ先 企画政策課 ☎ 72-1214